



いわき市立久之浜第二小学校 学校だより

「広い世界が開けてる」

平成29年10月18日(水)発行 第16号

文責 山田 弘

いわき市大久町大久字矢ノ目沢2番地の1

TEL 0246-82-3041 FAX 0246-82-3190

ホームページ http://www.iwaki.gr.fks.ed.jp/?page_id=86

◇10/19(木)日産自動車工場見学(5・6年)

◇10/20(金)じゅうねん収穫(予定)

◇10/23(月)花まんかい活動

◇10/24(火)んまつーポス身体表現ワークショップ

毎週水と金にチャレンジタイムがあります

学校目標

考える子
なかよい子
がんばる子

【今年度の重点目標】
よく聞き、伝えるように話し
進んで行動する



いわき市読書感想文コンクールで表彰されました

入選 「半日村」を読んで 3年 S.S

むかし、あるところに半日村という村がありました。この村は山が高く、日があたる時間がほかの村の半分もないので、半日村とよばれています。いねがそだたなくて、さむいかわいそうな村です。住んでいる村人のことはあまりくわしくかいてありませんが、村の人たちはみんなおなかがすいていてやせていたそうです。ぼくは、食べるものもあまりなく、さむくてかわいそうだなと思いました。

この本の主人公の名前は一平といいます。ぼくとおなじ八才ぐらいの子どもです。一平はお父さんとお母さんが、村に半日しか日があたらなくてこまっているのを見て、村にもっと日があたるようにしたいと考えました。

ある日、一平は、山のてっぺんの土をふくろにつめて、山からおりたところにある湖にあけました。ぼくは、いったい何をするのかなと思いました。なんと一平は、山を湖にうめてしまおうと考えていました。山をけすつて、その土を湖にする。ぼくは、とても良い考えで、よく思いついたなあと思いました。ぼくが半日村にすんでいたとしても、山を動かそうなんて考えないと思います。このよいアイディアをバカにしていた子どもたちはひどいなあと思いました。でのさいしょはわらっていた村の子どもたちも、一平のまねをする子どもが出てきました。そのうちに子ども全いでやるようになり、さいごには大人も全いで手つだうようになりました。それから何年も何年もたって一平が大人になったとき、山の高さは半分になって、朝から日があたるようになりました。村の人たちが一日中楽しくすごせるようになって、ぼくは、よかったなあと思いました。

ぼくの家からは、近くの工事をしているところがよく見えます。そこはさい初は木や草がたくさん生えている山でした。何日もかかってきかいで木を切って、三台のショベルカーで土をけすつて、ダンプカーが何回も رفتり来たりして土を運んでいました。今は、山が低くなって地面が平らになってきました。工事げん場のダンプカーはとても大きくて、一度に十トンの土をはこぶことができると、工事をしている人に聞きました。きかいや車をつかうとあつという間に、山をけすつて低くしたり、ぎやくに山を作ったりすることもできるけれど、半日村の人たちは、きかいや車がないのでたいへんだったと思います。

一平が山を動かそうと思いついたこともすごいけれど、村の人たちが全いで何年もかけて手つだうしてくれなかったら、山は半分にならなかったと思います。

ぼくは、この本を読んで、人からむりだとわられるようなことでも、自分がやりたい、やってみようと思うことは、あきらめないでやってみるのが大切だと思いました。もし一人ではできなくても、みんなでやれば何でもできると思います。他のだれかが、ぼくが思いつかないようないいことを思いついた時は、それを手つだうてあげようと思います。



全校集会で発表しました

この他にも1年 T. W さん、2年 Y. W さん、4年 Y. T さん、5年 T. T さん、6年 A. N さんが佳作で表彰されました。

親子で読書の時間を設け、ともに秋の夜長じっくりと本を読んでみるのはいいことですね。学校の図書室でもたくさんの本を紹介しています。



県 PTA 研究大会いわき大会が開催されました

10月15日(日)に県 PTA 研究大会いわき大会がアリオスで開催されました。県内各地から PTA の方々が集まりました。



地元開催ということで本校からも実行委員のお仕事として根本さん、田村さんにご尽力いただきました。